兵庫保険医新聞

第1480号
2006年2月5日

発行所　兵庫県保険医協会
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078・393・1801
（1部350円送料共・年間購読料12,000円）
振替01190-1-2133
（会員の購読料は会費に含まれています）

今号の記事

'05年雨と空気の汚れ調査結果　2面
会員投稿　日本滅亡に医療改悪　3面
研究面　上部消化器症状の漢方薬 六君子湯をめぐって㊦　4面

協会新春講演会に115人
なっとく、憲法の役割

「憲法は、多数者・強者から少数者・弱者を守るもの」。協会が1月14日に開催した新春講演会「目からウロコ『憲法のお話』」で、講師の伊藤真氏（伊藤塾塾長・法学館憲法研究所所長）は、徴兵・戦争など国家による人権侵害から国民を守るという憲法の役割を解き明かした。改憲の動きが活発化するなか、集まった医師・歯科医師や市民ら115人はあらためて日本国憲法の意義を考えた。

伊藤氏は、国民多数の意思に従うことが常に正しいとは限らず過ちを犯す危険性があることを、戦前の日本やナチスドイツなど過去の歴史を振り返りながら紹介。「現代の憲法には多数決でも奪ってはならない価値（＝人権）が謳われている。憲法は民主主義に歯止めをかけ少数者や弱者を守るための道具」との考えを強調。焦点となっている9条改憲問題では、戦争違法化への世界の大きな流れと、日本が米国の世界的軍事戦略に巻き込まれる危険という、ふたつの方向に注目し、9条が空想論ではなく現実世界において有効なものだと説明した。

さらに、「他国から攻められたらどうするのか」という意見に対し、アメリカの銃社会の現状を例にあげながら「軍備がかえって攻撃の口実を与え国民を危険にさらす。軍隊を持つことで過ちを犯す危険性の方が高い」と反論。「安全保障の根幹は『信頼』にある」として、武力によらないで平和の実現に貢献することを国際貢献と位置づけた9条の「積極的非暴力主義」の意義を強調した。

また伊藤氏は、憲法は権力者にとっては常に押し付けられるものとして、保守政治家による「米国の押し付け憲法を変えなければ」との主張を批判。現憲法によって天皇制の圧政から解放されたのだから「国民が押し付けられたと感じる必要はまったくない」とした。

自民党新憲法草案については、『公益』など国や秩序を表す言葉が多くなっている」として、国家が個人の人権を超える価値として捉えられていることをあげ、人権保障という憲法の性格を変質させる危険性を指摘した。

講演後には九条の会・兵庫県医師の会世話人の森昌彦朝日大学名誉教授があいさつし、9条を守る取り組みを進めようと参加者らに呼びかけた。

国家権力をしばることこそ憲法の一番の役目とした講師の伊藤真氏（上）　会場の協会会議室一杯に集まった参加者らは、メモをとりながら真剣な目ざしで講師の話に聞き入った（下）

「事業税非課税は廃止すべき」
―協会が知事に質問状

井戸知事

政府税制調査会委員でもある井戸敏三兵庫県知事は昨年11月15日の同会28回総会で、医療機関の事業税非課税措置を見直すべきと発言していることが議事録から分かった。

同知事は同年3月18日の同会27回総会でも「医師報酬の非課税は不公平税制の代表選手」と発言するなど、医療機関経営を営利事業と同列視する発言を繰り返している。

議事録によると、同知事は「お医者さんからいつも怒られるのですけれども」と前置きして「事業税の非課税措置の中で社会保険診療報酬制度、全く非課税に取り扱われています…なぜ事業税だけそのような特例を延々と続けなければならないのか」と発言。「これは見直していただいてしかるべきではないか」との見解を表明している。

発言に対し協会は1月16日、同知事宛に、診療報酬の非課税措置を不公平であるとする根拠や医師報酬を非課税と認識しているのかなどについて質問状を提出。24日に県税務課から、「事業活動を行っている以上、事業税は公平に課税されるべき」「（診療報酬非課税の）特例措置は廃止すべき」などとする回答を得た。

※次号に県からの回答全文と解説を掲載予定。

※交通費は協会で負担します

ご参加を！

許すな！医療改悪・大増税

2・9国民集会

日　時　2月9日（木）
14時～15時30分（13時開場）
会　場　さいたまスーパーアリーナ
ＪＲさいたま新都心駅徒歩すぐ
主　催　医団連、中央社保協、全労連

お申し込みは　☎078－393－1807　角屋まで

共済制度加入者の集い

シャンソン＆ディナーパーティー

松浦由美子さん

日　時　3月11日（土）
18時30分～20時30分
（受付は18時から）
会　場　新神戸オリエンタルホテル
10階ボールルーム
参加費　お１人様2,000円
（協会会員と同伴者お１人までご参加いただけます）

お申し込みは ☎078－393－1805 共済部まで

シャンソン歌手の松浦由美子さんが、♪パリの屋根の下、♪バラ色の人生、♪オーシャンゼリゼ、♪愛の賛歌など、皆さんに親しまれている歌を披露します

文化部幹旋企画　映画上映会・海南友子監督講演会

ドキュメンタリー映画　**にがい涙の大地から**

日　時　2月26日(日)　映画　①10:30～　②13:45～　③17:00～
講演　①12:15～　②15:30～
会　場　けんみんホール（兵庫県民会館９階ホール）
前売券　900円（当日一般1,200円）
主　催　「にがい涙の大地から」上映実行委員会
チケットは　☎078－393－1817　石本まで

燭心

受験シーズンである。受験生を持つご家庭も多いことと思う。気苦労も多いだろうが、ちょっと一服。時事問題、難問奇問を考えてみた。お暇な方は挑戦を▼第1問、政治経済。次のA群とB群から関連のあるものを結びつけよ。（A）偽装工作・虚偽情報・安全軽視・規制緩和（B）ヒューザー・ライブドア・JR西日本・米国産牛肉…。いやはや何ともややこしい▼第2問、生物。次の毒素を国民に注入した時、激しい痛みを引き起こす順に並べよ。ショウヒゼイゾウゼイ・イリョウセイドカイカク・ネンキンサクゲン・シンリョウホウシュウマイナスカイテイ…いやはやだんだん、イタく腹が立ってくる▼第3問、倫理社会。A氏はある人物が大量破壊兵器を持っているとの嘘の情報を流した。B氏はその情報の確認も取らずに先制武力攻撃をした。C氏はB氏の行動を絶賛し、全面的に手助けをした。D氏は彼らに反対し暴力をやめるようビラをまいた。さて、罪に問われたのは誰でしょう？いやはやまったく、無理が通れば道理がへこむ▼第4問、国語。次の文章を読んで誤りを正せ。「所得再配分の効果や高齢者世帯の増加、世帯人員の減少といった社会構造の変化を考慮すると、統計データからは所得格差の拡大は確認されない」某国首相の国会答弁。ノーテンキぶり、いやはや恐れ入ると言うべきか▼大変だろうがこの国の誤りを正すのも、君たち青年の役割だ。受験生たち、大志を持って頑張ってほしい。（星）